

竹内均先生追悼講演 - 竹内均先生の社会啓蒙活動とその情熱 -

Prof. Hitoshi Takeuchi memorial lecture - Prof. H. Takeuchi's enlightenment activities and his passion -

浜野 洋三[1]

Yozo Hamano[1]

[1] 東大・理・地球惑星物理

[1] Dept. Earth & Planetary Physics, Univ. of Tokyo

2004年4月20日、日本を代表する地球物理学者で東京大学名誉教授の竹内均先生がご逝去された。数々の優れた研究業績も然る事ながら、多くの後進を輩出し、地球科学界のみならず、科学界に与えた影響は計り知れない。東京大学退官の後は科学雑誌「ニュートン」を創刊し、わかりやすい科学の普及に努められ、教育界にも多大な影響を与えた。特に、当時まだ珍しかったフルカラー画像を多用した「ニュートン」誌、動く映像を駆使したNHK高校講座は竹内先生の映像に対する優れた先見性を示していると言える。そこで本セッションではヴィジュアル地球科学の先駆者ともいえる竹内均先生を追悼し、その業績と足跡を振り返ることでこれまでの映像の地学を俯瞰し、今後の地球惑星科学分野における映像の役割とその可能性について議論したい。

本講演では、竹内先生とゆかりの深かった東京大学教授の浜野洋三氏をお招きし、竹内先生の行った科学の社会啓蒙活動と、活動に込められた理念と情熱について講演していただく予定である。竹内先生の社会啓蒙活動は多岐にわたり精力的に行われ、450冊以上の著作、2000回以上のテレビ出演をなされている。上田誠也先生との共著「地球の科学」のような名著を数多く執筆し、中には1974年の映画「日本沈没」への自分に扮しての出演といったものもあり、竹内先生の活動が一般の学者イメージを大きく変えることとなり、延いては科学のイメージを変えることに大きな影響を与えたのは間違いない。そのような地球物理学者、竹内先生のもう一つの顔、科学の社会啓蒙活動の先駆者としての竹内先生について紹介していただく。